## **PROTECH®**

4CHフィールドミキサー

FS-405

# 取扱説明書

で使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう 大切に保管してください。

# 安全上の注意 必ずお守りください。

プロテック商品共通 別売ACで使用される場合を含む

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を 次の表で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。 (下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

#### 設置について



## 警告

■不安定な場所におかない!



落ちたり、倒れたり して、けがの原因と なります。

禁止

**■**電源コードに重い物を



禁止

下敷にならないよう 注意してください。 コードが傷ついて、 火災・感電をおこす おそれがあります。 ■水場に設置しない!



火災・感電の原因と なります。

水場使用禁止

#### 異常時の処理について



## 警告

■本機を落としたり、破損した 場合は電源スイッチを切り、 電源を抜く!



そのまま使用すると、 火災・感電をおこす おそれがあります。

電源を抜く

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く!



そのまま使用すると、 火災・感電をおこす おそれがります。



電源を抜く

場合は、電源スイッチを切り、 電源を抜く!

■本機の内部に異物が入った

そのまま使用すると、 感電・事故をおこすお それがあります。 ●お買い上げの販売店に 御相談ください。

■煙りが出ている、変なにおいや音が する等の異常状態の場合は、電源ス イッチを切り、電源を抜く!



電源を抜く

■電源コードが痛んだ場合は、 交換する!



そのまま使用すると、 感電・事故をおこすお それがあります。 ●お買い上げの販売店に 御相談ください。

# 安全上の注意

### 必ずお守りください。

#### 使用方法について



■本機の上に水の入った容器、 小さな金属物を置かない!



ると、故障や事故をおこ すおそれがあります。

禁止

こぼれて、本機内部に入

■水場で使用しない!



火災・感電の原因となり ます.

水場使用禁止

■機器の開口部から異物を差し 込んだり、落とし込んだりし ない!



火災・感電の原因となり ます。

禁止

■本機の裏フタ・キャビネット・ カバー等をはずさない!



感電の原因となります。 点検・整備・修理は 販売店にご依頼ください。

分解禁止

■本機を改造しない!



火災・感電の原因となり ます。

火災・感電をおこす

分解禁止

■機器がぬれたり、水が 入らないようにする!



おそれがあります。 雨天・降雪中・海岸・ 水辺での使用は特にご 禁止 注意ください。

#### 使用方法について



■本機の上に重い物を 置かない!



バランスがくずれて、

落下して、けがの原因に なります。

■使用しない時は、安全のため電源 を抜く!



火災・感電の原因となる ことがあります。

電源を抜く

■本機に乗らない!



倒れたり、こわれたりし て、けがの原因になりま

■移動させる場合は、電源 を抜き、外部のコードを はずす!



コードが傷つき、 火災・感電の原因 となることがあります。 お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、 スイッチを切り、 電源を抜く!



感電の原因となる ことがあります。

電源を抜く

■1年に1度くらいは、 販売店に内部掃除の 相談を!



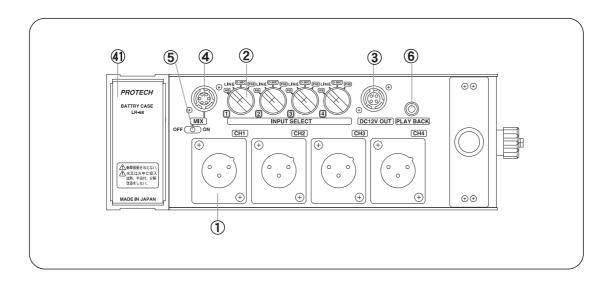
本機の内部にほこりがた まったまま、使用し続けると、火災・故障の原因 となることがあります。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2~3
ご使用にあたってのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2~3
各部名称と働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·····5~15
メインパネル(左側面)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
入力パネル(上面)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
イコライザー調整パネル(天板)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7~8
メインパネル(前面)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····9~12
入出力パネル(右側面)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13~14
バッテリーホルダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
主な使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16~26
バッテリーケースの取り出しと装着・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
電源ON/OFFとバッテリー残量の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
入力音声の種類を選択する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
入力レベルを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
- 音声出力をレコーダーに接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
出力レベルを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
入力音声をイコライジングする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
フェードイン・アウトを使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
AUX INPUT(5.6ch)に入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
8 c h (12 c h) ミキサーとして使用する(リンク機能)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
周波数特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27~28
ブロック図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
外形寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31

## 各部名称と働き

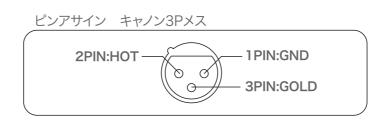
## メインパネル(左側面)



#### ①入力コネクタ キャノンXLR3ピン

FS-405 Aタイプ:メス

FS-405 Bタイプ:オス



#### ②入力切替スイッチ

P48 :ファンタム48Vマイク(ソニー社製C-74等)をご使用時はこの位置にします。

D-MIC:ダイナミックマイクをご使用時はこの位置にします。

LINE:ラインレベルでの入力時はこの位置にします。

AB : A-B12Vのマイク(ゼンハイザー社製MKH416T等)をご使用時はこの位置にします。

#### ③DC12V OUT端子

ワイヤレスレシーバー等にDC12Vを供給するためのミニ4ピン出力コネクタです。

#### ピンアサイン

4PIN: +12V

1PIN: GND

3PIN:未接続

2PIN:未接続

#### ④ MIXコネクタ端子

親機のMIXコネクタに専用ケーブルのM(マスター)側、子機のMIXコネクタにS(スレーブ)側を接続することにより子機の信号を親機にミキシングできます。

60 01

(注)どちらかが親機になってもかまいません。

#### ピンアサイン

4PIN: GND

5PIN: L IN

6PIN: RIN

1PIN: GND

2PIN: L OUT

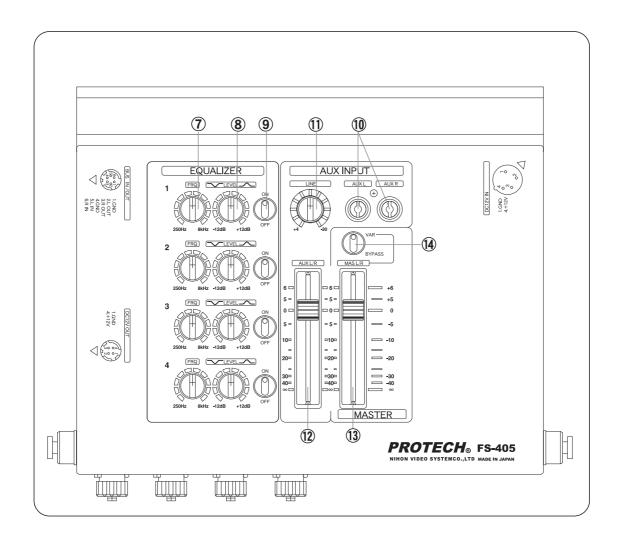
3PIN: ROUT

### ⑤MIX ON/OFFスイッチ

親機側のMIXスイッチをONにすると子機の信号をすべて親機にミキシングします。

#### ⑥プレイバック入力コネクタ

ステレオミニプラグ  $(3.5\phi)$  用入力コネクタです。レコーダー側のヘッドホン出力から本機に入力してください。



#### ⑦イコライザーフリケンシーボリューム

入力ch毎にイコライザー周波数を調整する為のボリュームです。250Hz~8kHzの可変範囲を持ち、 任意に調整できます。

#### ⑧イコライザーレベルボリューム

イコライザーのレベルを調整するボリュームです。イコライザーフリケンシーボリューム(⑦)で設定した 周波数を-12dB~+12dBの範囲で調整できます。

## ⑨イコライザーON/OFFスイッチ

イコライザーフリケンシーボリューム(⑦)、イコライザーレベルボリューム(⑧)で調整されたイコライザー効果をON/OFFするスイッチです。このスイッチで効果を確認したり、調整した設定を残したままイコライザーをOFFにすることもできます。

#### ⑩AUX入力コネクタ

2ch(L/R)のRCA入力コネクタです。

#### ①AUX LINEトリムボリューム

入力を正しいレベルで取り込むための調整ボリュームです。-30~+3dBsで可変します。

### ⑫AUX LINEマスターボリューム

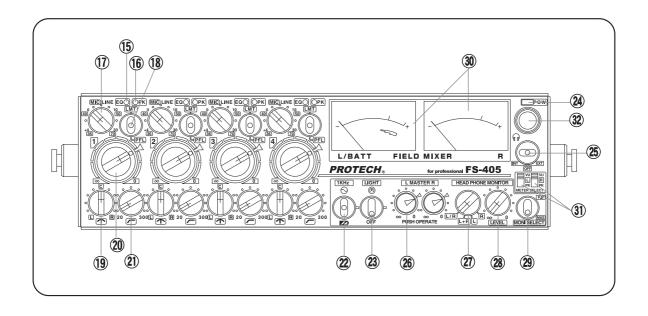
AUXのミキシングレベルを調整するボリュームです (注)AUX入力にはハイパーリミッターはありません。

#### (3)MASTERボリューム

MAS出力のレベルを調整するためのボリュームです。

#### (MASTER BYPASSスイッチ

このスイッチをVARにするとMASTERボリューム(③)による出力調整が可能です。BYPASSにすると出力は固定レベルとなります。



#### ⑤イコライザーLED

天板上のイコライザースイッチがONの状態を表示するLEDです。これにより前面パネルでイコライザーのON/OFFが確認できます。

## ⑯オーバーロード(PK)LED

各ch毎にレベルが瞬間でもオーバーロードした時に点灯して、入力レベル又はマスターボリュームの設定値が高いことを示します。

## のMIC/LINEトリムボリューム

入力を正しいレベルで取り込むための調整ボリュームです。マイクで入力された音声を最小-70dBm、最大-36dBmまでの間で調整することができます。これにより感度の違うマイクや音源レベルの違う音声を同レベルにすることができます。LINE入力の場合-30~+4dBm間で可変します。

#### 18ハイパーリミッタ/PFLスイッチ

LMT側にすることで各入力chに独立して設けられているハイパーリミッター回路をch毎にON/OFFするスイッチです。

(注)ハイパーリミッターはスイッチをOFFにして、トリムボリューム及び、マスターボリュームでレベル調整 確定後、ONにしてください。

また、PFL側にすると押している間だけPFL機能が働き右メーターにマスターボリューム前にレベルを表示し、ヘッドホンにはその音声のみが出力されます。但し、マスターがMIN(∞)ならミキシングされません。

#### 19パンポットボリューム

各ch毎に調整された信号をL/Rにどのようにミキシングするかを調整するボリュームです。

L :LのみにミキシンL

C :LとRの両方にミキシング(センタークリック)

R :Rのみミキシング

中間位置:ツマミ位置に比例した出力バランス

#### 20chマスターボリューム(表示LED付)

各ch毎のミキシングレベルを調整するボリュームです。ライトスイッチ(23)が<br/>
の側になっているとツマミの先端が点灯し暗い中でも調整ができます。

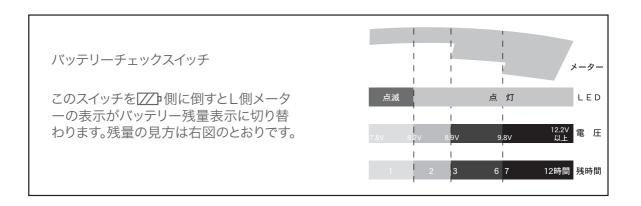
(注)ハイパーリミッタースイッチ(**18**)がONになっているチャンネルはボリュウムを上げても基準レベルをオーバーしなくなるので上げすぎには注意してください。

#### ②LOW CUT調整ボリューム

風雑音等の低域をカットするための遮断周波数を調整するボリュームです。ヘッドホン等でモニターしながら20Hz~300Hzの間で調整して使用してください。

#### 201kHz/バッテリーチェックスイッチ

このスイッチを○側に倒すとメイン及び、サブ出力に1kHz基準音が出力されます。



#### 23ライトスイッチ

このスイッチをセンターにするとオーバーロード表示機能が働きオーバーロードLED(®)がオーバーロード表示するようになります。 
⑩側にするとch毎のマスターボリュームLED及び、メーターバックライトが点灯し暗闇での操作が容易になります。

#### **29POW表示LED**

POWスイッチ(②)がINT(内部電源)又は、EXT(外部電源)にセットされ、電源ONになっているときに点灯します。この表示は電圧チェック機能を持っており電源電圧が約8.2V以下になると点滅を始め電池電量不足を警告します。

#### 25POWスイッチ

INTにすると内部(後面)のバッテリーボックス又は、NP1ボックスから電源を供給します。EXTにするとキャノン4ピンDC12Vコネクタ( $\mathfrak{B}$ )又はBP-90用DC12V入力コネクタ( $\mathfrak{B}$ )からの電源供給になります。電源がONになっている時はINT,EXTのどちらでもPOW表示LED( $\mathfrak{A}$ )が点灯します。

#### 26マスターボリューム

MAS出力レベル調整用のマスターボリュームでL・R独立です。プッシュロックタイプを採用し、不用意につまみがまわらないようにできています。調整したい場合はつまみを押すと飛び出しますので調整が容易に行えます。その後再度押し込んでください。

(注)天板のMASTER設定がVARでMIN( $\infty$ )になっていると出力されません。ご注意ください。

#### ②<br /> ヘッドホンセレクトスイッチ

標準ヘッドホンジャック( $\mathfrak{Q}$ )及び、ミニヘッドホンジャック( $\mathfrak{Q}$ )にセットされたヘッドホンに出力するモニター信号を選択するスイッチです。 $\boxed{L/R}$ モードではステレオとなり $\boxed{L+R}$ モードではLとRのMIX、 $\boxed{L}$ もしくは $\boxed{R}$ モードではLもしくはRの音声をモノラルでモニターできます。

#### ②8ヘッドホンモニターレベルボリューム

ヘッドホンセレクトスイッチ(20)で選択された音声のモニターレベルを調整するボリュームです。

#### 29モニター切替スイッチ

メーター及びヘッドホンでモニターする音声をマスター (MAS) 出力又はプレイバック (P.B) 入力に切り替えるスイッチです。 MAS 側にするとメーター及びヘッドホンにミキサー本体から出力される音声信号をモニターできます。 P.B 側にするとプレイバック入力コネクタ(⑥)から入力されたレコーダー等の音声信号をプレイバックレベルボリューム (28) で調整しモニターできます。

### 30VU/PEAKメーター

2個のメーターによりL/Rステレオ同時モニターができます。メーター切替スイッチ( $\mathfrak{J}$ )によりVUと PEAK切替が可能です。メーター切替スイッチ( $\mathfrak{J}$ )をVU側にした時はVUメーターとなり、上段の目盛り -20~+3dBで表示されます。PK側に切り替えるとPEAK PROGRAMメーターとなり、下段の目盛り -60~0dBの表示となります。1kHz/バッテリーチェックスイッチ( $\mathfrak{D}$ )を  $\mathbb{Z}$  側にしている間はL側の メーターでバッテリーレベルの表示をします。

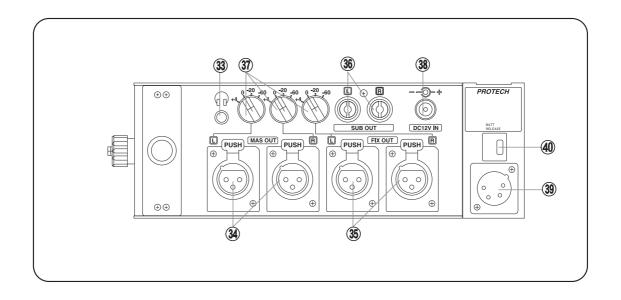
(注)基準レベルはVUでは0dB、PEAKでは-20dBの時、マスター出力切替スイッチ( $\mathfrak{D}$ ) で設定された +4/-20/-60dBになります。

#### ③メーター切替スイッチ

VU/PEAKメーター(30)をVU又は、PEAKメーターに切り替えるスイッチでL/R独立して設定ができます。

#### 3 標準ヘッドホンジャック

標準プラグ $(6.3\phi)$ 用ヘッドホンジャックです。②~②によって設定された音声をモニターすることができます。



## ③ミニヘッドホンジャック

ミニプラグ(3.5φ)ステレオヘッドホンジャックです。前面パネルにある標準ヘッドホンジャック %と同時モニターが可能です。

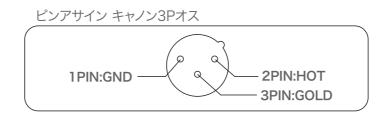
### ③マスター出力コネクタ(キャノン3ピン)

マスターボリュームにより出力調整が可能な出力です。

標準タイプ(Bタイプ)メスコネクタ

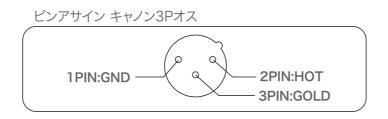
特注タイプ(Aタイプ)オスコネクタ

出力基準レベルをマスター出力切替スイッチ (のよりch毎に+4/0/-20/-60dBmに設定できます。



### ③フィックス出力コネクタ(キャノン3ピン)

マスターボリュームに影響されない固定レベルが出力されます。



#### 36サブ出力コネクタ(RCA)

RCAコネクタでL/Rが出力されます。家庭用レコーダー等に適合するよう、出力レベルは-10dBに設定されています。

#### ③マスター/フィックス出力切替スイッチ

マスター出力レベルを+4/0/-20/-60dBmの4つのレベルより選択し切り替えるスイッチです。L/Rを独立して設定することができますので接続されるレコーダーに合わせてそれぞれを設定してください。

#### 38BP-90用DC12V入力コネクタ

BP-90タイプバッテリーより電源入力をするためのコネクタです。この場合もPOWスイッチ(26)はEXT側にして下さい。入力電圧はDC9~16Vです。

### 39キャノン4ピンDC12V入力コネクタ

キャノン4ピン外部電源入力コネクタです。このコネクタから電源を供給する場合はPOWスイッチ(含)をEXT側にしてください。入力電圧はDC9~16Vです。



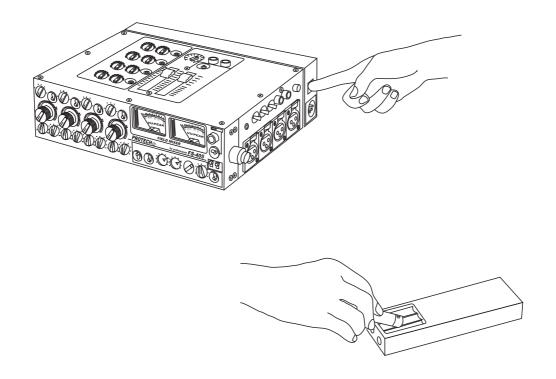
## ⑩バッテリーケースレリーズボタン

このボタンを押すとバッテリーケース(40)を取り出すことができます。バッテリーケース(LR-3)は単3乾電池(UM3)8本を入れて使用すして下さい。

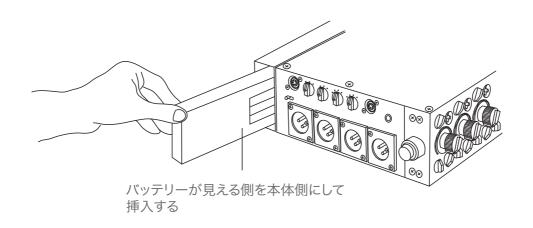
## 主な使用方法

### ■バッテリーケースの取り出しと装着

- 1. まずバッテリーケースをBATT RELEASEボタンを押し取り出します。バッテリーケースに単3乾電池8本を正しい方向に入れます。
- (注)外部電源を使用する時はキャノン4ピン入力端子に入力して下さい。



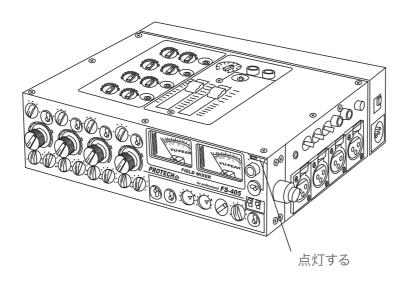
2. バッテリーケースを方向に気を付けて本体に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



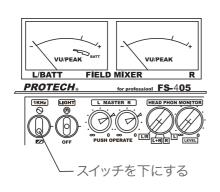
3. この時バッテリーケースがロックされている事をご確認下さい。

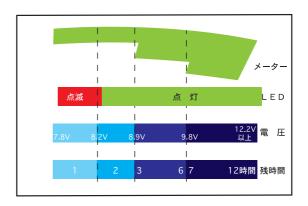
## ■電源ON/OFFとバッテリー残量の確認

1. フロントパネルの右側のPOW SWをINT(左側)にしPOW LEDが点灯する事を確認します。外部電源を使用する時はPOW SWをEXT(右側)にして下さい。



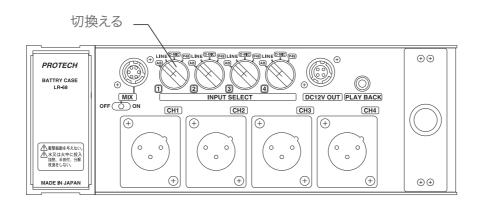
2. BAT CHECK SW IZZ 側に下げるとL/BATTのメーターが振れBAT残量を表示します。緑の一番右のバーに針があれば7時間以上使用可能です。



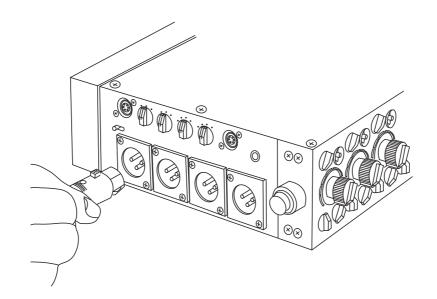


### ■入力音声の種類を選択する

- 1. P48ファンタム電源タイプのコンデンサマイクを使用する場合は左側入力切換えツマミをP48 にセットし、A-B12タイプのコンデンサマイク(ゼンハイザ社416T等)を使用される場合は 切換えをAB12にセットします。
- (注)LINEレベル音声を入力するときは入力切換えツマミをLINEにして下さい。



2. ダイナミックマイク(電源を必要としないマイク)を使用する時は切換えツマミをD-MICにセットして下さい。入力選択が終わればキャノン3ピンケーブルにて接続します。

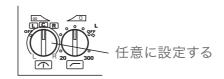


#### ■入力レベルを調整する

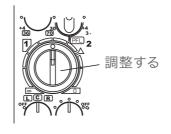
1. 入力に接続されたchのPELスイッチを下に押しながら右メーターが適正レベルになるようにMIC/LINEトリムで調整します。



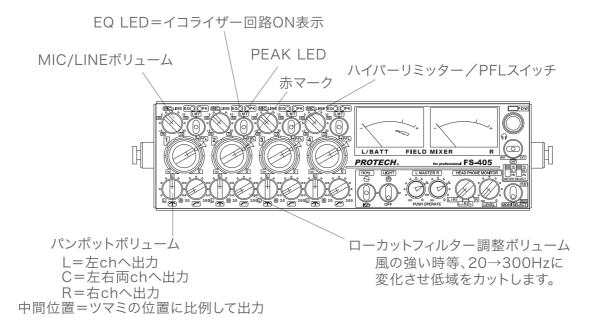
2. パンポットボリュームにより任意の位置に設定します。



- 3. マスターボリュウムにて適正レベルになるように調整します。
- (注)この時リミッタースイッチをOFF(下)にして調整しないとメーターは適正でもレベルが高くなってしまうので注意してください。



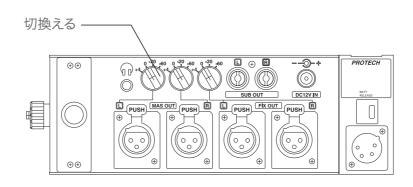
4. 設定終了後にリミッタースイッチをLMTにしておくと突然の過大入力音時にもリミッターが働き音声が歪むのを防ぐことができます。



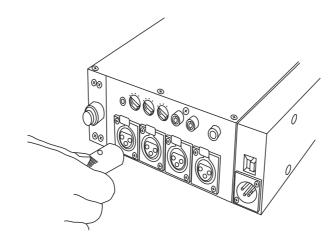
### ■音声出力をレコーダーに接続する

1. 音声出力をレコーダーに接続するには右側のMAS OUT(L,R)からキャノン3ピンケーブルでレコーダーと接続します。レコーダーの入力設定にMAS OUT出力設定を合わせます。

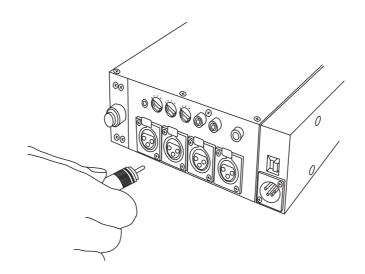
例: レコーダーがLINE入力+4dBの場合、MAS OUTも+4dBに設定します。



2. MAS OUT L,Rキャノンケーブルを接続します。

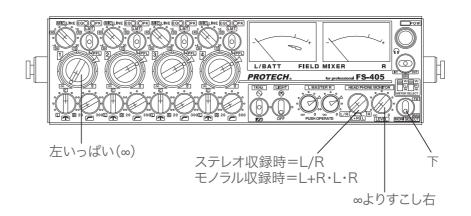


3. RCA入力のDECKを使用する場合にはSUBOUT L,Rに接続します。この時出力レベルは-10dBVです。

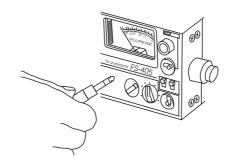


#### ■出力レベルを調整する

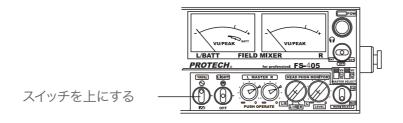
1. 全chのマスターボリュームを左いっぱいに回して∞にします。MONITOR SELECTはMAS(下側) にし、前面パネルの右側のHEAD PHONE MONITORを L/RにしLEVELを∞から少し右にしてください。



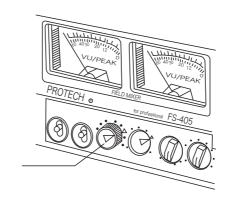
2. ヘッドホンジャックにヘッドホンを差し込んで下さい。



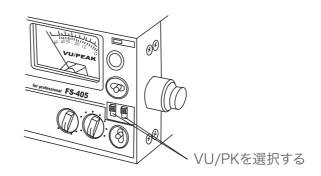
3. 左前面の1kHzスイッチと、前面パネルの1kHzスイッチをONにします。METER SELECTをVU又はPEAKに切換えます。



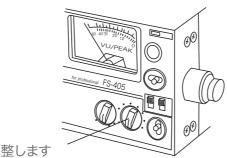
4. このときVUなら0dB,PEAKなら-20dBになるようにMASTER L,Rを調整します。



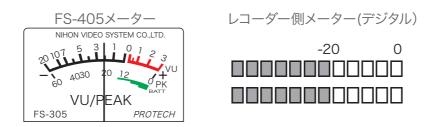
押すとホップアップし 調整できます 5. 接続するレコーダの採用しているメーターを選択するとより正確にレベル合わせを行うことが出来ます。



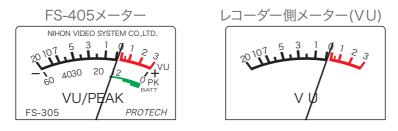
6. この時ヘッドホンレベルを適度な音量になるように調整します。



- ヘッドホン調整します
- 7. ここで接続されたレコーダーのレベルが正しくなるようにレコーダーの入力レベル調整をします。
- (注)レコーダーがPEAKメーター仕様ならFS-405及び、レコーダーを-20dBになるように調整するのが適切です。



(注)レコーダーがVUメーター仕様ならFS-405及びレコーダーを0VUになるように調整するのが適切です。



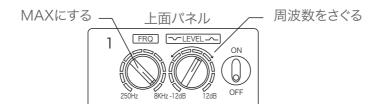
8. 調整後1kHzをOFFにします。

### ■入力音声をイコライジングする

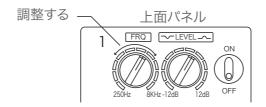
1. 入力音声の特定の音域を強調又は抑えたい場合は、上面のイコライザーにより調整します。調整したいchのEQALIZERイッチをONにします。



2. LEVEL調整ボリュームを右いっぱい (+12dB) にします。ヘッドホンで確認しながらFRQのボリュームを250Hz~8kHzの範囲内で変化させ、強調したい音声が一番良く聞こえる周波数を探ります。



3. 周波数が決まればLEVELを任意に調整します。



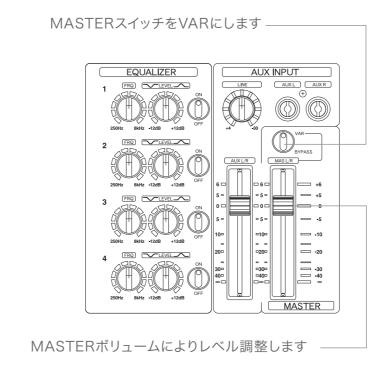
4. 効果を確認するにはEQUALIZERスイッチのON/OFFを行えば効き具合を確認できます。 EQUALIZERをONにしたとき前面パネルのEQ LED(黄色)が点灯しEQのON/OFFが確認できます。



5. 同じ方法で4ch共調整してください。これで音声の調整は完了です。

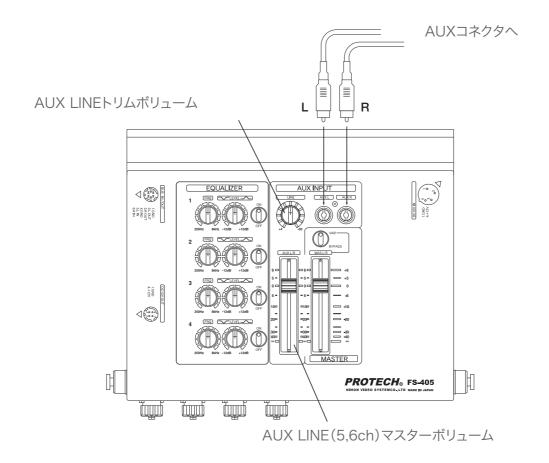
### ■フェードイン・アウトを使用する

1. すべての出力をフェードイン/アウトしたい時は上面のMASTERボリュームで行います。



2. AUXも同様にスライド式でフェードイン/アウトする事が可能です。

## ■AUX INPUT(5,6ch)に入力する

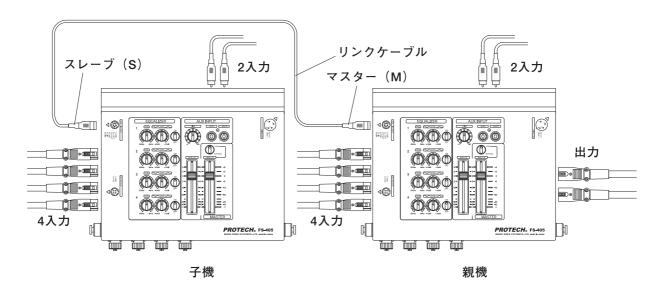


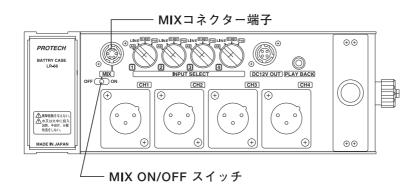
- 1. 天板のAUX入力コネクタにL,Rの2chを接続します。
- (注)この2ch入力はLはL,RはRの固定ミキシングです。パンポットによるL/Rの振り分けはできません。
- 2. AUX LINE(5,6ch)マスターボリュームをOdBにしてレベルメーターが適正になるようにAUX LINEトリムボリュームの調整をします。
- 3. AUX LINE(5,6ch)マスターボリュームを必要に応じて調整します。

### ■8ch(12ch)ミキサーとして使用する(リンク機能)

- 1. リンクケーブル(別売)を使用し、親機側のMIXコネクタ端子にマスター(M)、子機側のMIXコネクタ端子にはスレープ(S)となるようにケーブルを接続します。
- (注)どちらが親機になってもかまいません。リンクケーブルのマスター(M)側を接続したFS-405が親機となります。

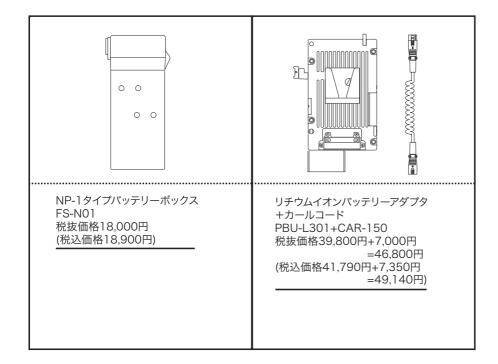
別売リンクケーブル: LC-405 標準価格 10,000円



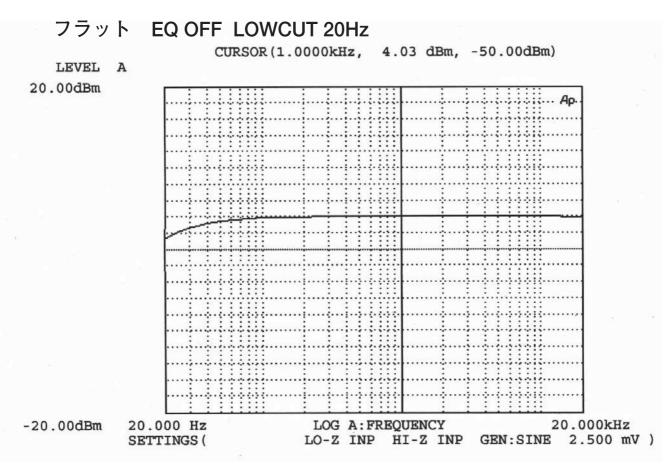


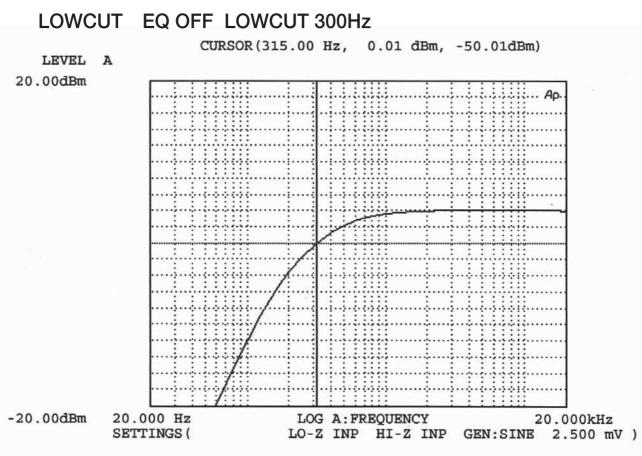
- 2. 親機側のMIX ON/OFFスイッチをONします。
- 3. 子機の全入力がそのまま親機の入力としてミキシングされます。
- (注)但し、以下の操作は子機自体でしか動作しません。
  - ・子機の1kHz基準信号発信
  - ・子機のブリフェーダーライン(PFL)でのモニター

# オプション

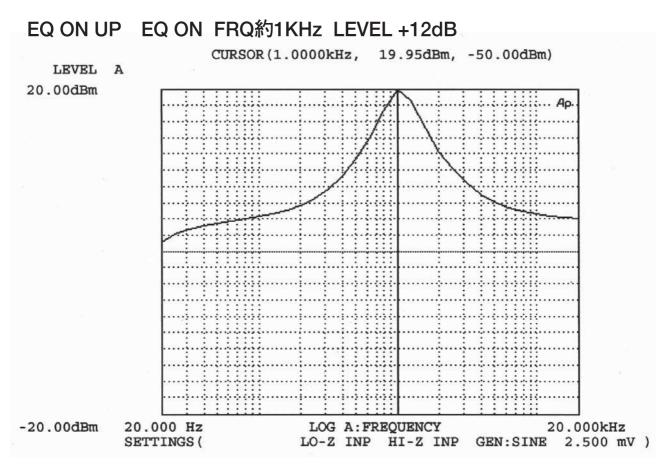


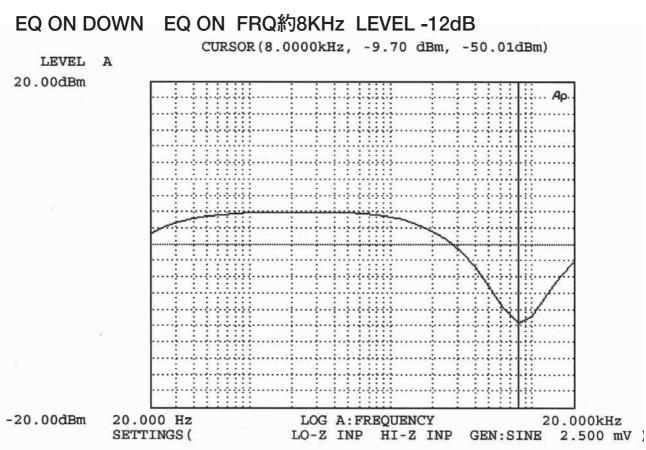
## 周波数特性



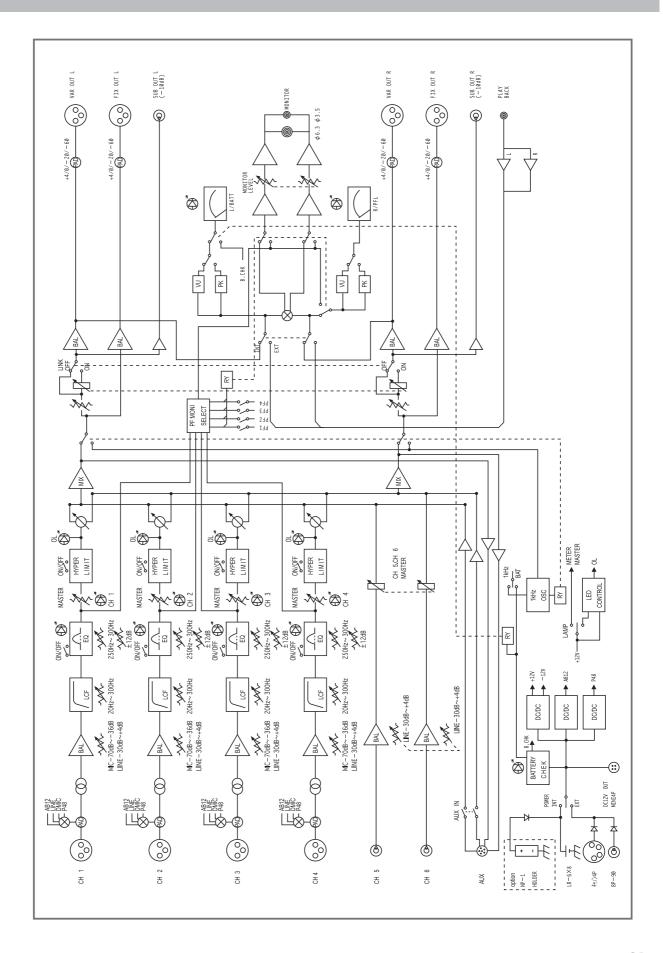


## 周波数特性

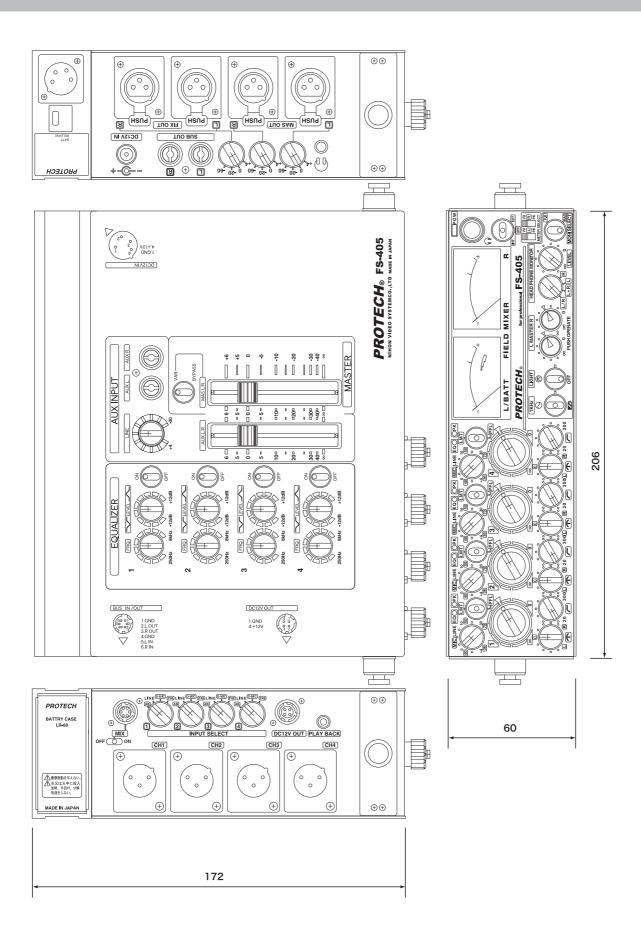




# ブロック図



## 外形寸法図



# 主な仕様

MONI OUT-6dBs ソニー社製リチウムイオンバッテリー	入力部		付属回路	
	オーディオ	1~4ch XLR-3ピン(メス:Aタイプ、オス:Bタイプ)x4	イコライザ	FRQ 250~8KHz
ライン・30~+4dBm連続可変		5·6ch RCAL/R各1		LEVEL -12~+12dB
インピーダンス   600 (10%   2	入力レベル	マイク-70~-36dBm連続可変(1~4chのみ)		各ch独立調整及びON/OFF可能)
DC   XLR-4とン(オス)×1   BP-90型コネクタ×1   H.P.F   20~300Hz-12dB/oct   周波数連続可変		ライン-30~+4dBm連続可変	ファンタム電源	P-48V(+48V)及びA-B12Vを
BP-90型コネクタx1	インビーダンス	600Ω±10%		   各ch毎に装備
出力部	DC	XLR-4ピン(オス)x1		最大供給電流4ch合計30mA
Fix Xirs3ピン (オス: A9イフ、XX: B9イフ) L/Rx名1		BP-90型コネクタx1	H.P.F	20~300Hz,-12dB/oct
MAS XLR-3ピン (オス: A9イプ、 メス: B9イプ、L/Rx名1	出力部			周波数連続可変
サブ音声出力   RCA L/Rx名1	マスター音声出力	FIX XLR-3ピン(オス:Aタイプ、メス:Bタイプ)L/Rx各1	オシレーター	1kHz
リミッター   名ch入力側独立 4系統   独立 ON/OFF可能   独立 ON/OFF可能   フリファーダーライン マスターポリューム直前確認機能   マスターポリューム直前確認機能   マスターポリューム直前確認機能   でスターポリューム直前確認機能   アンデリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   「別売りパッテリー   アグブター   BKW-L601使用版   がおら付き   でスターを表示   で、スターを表示   で、スターを		MAS XLR-3ピン(オス:Aタイプ、メス:Bタイプ)L/Rx各1	音声レベルメーター	VU/ピーク切換え式
3.5	サブ音声出力	RCA L/Rx各1		VU/ピークを各ch毎に切換え可能
展大出力 L/R +24dBm	ヘッドホンモニター	6.3ø ステレオ標準ジャックx1	リミッター	各ch入力側独立 4系統
音声出力レベル         L OUT+4・0・-20・-60dBm R OUT+4・0・-20・-60dBm 600の負荷に適合する電子バランス出力         使用電源 パッテリー           第四人の自有に適合する電子バランス出力         PPOパッテリー RCA OUT (L/R)-10dBs アンバランス出力         NP-1バッテリー (別売りバッテリーホルダーFS-N01使用時 ソニー社製リチウムイオンバッテリー (別売りバッテリーアダプターBKW-L601使用時 リーアダプターBKW-L601使用時 リーアダプターBKW-L601使用時 リーアダプターBKW-L601使用所 クロシーフを含むします。           第四人の内によりによります。 (別売りバッテリーアダプターBKW-L601使用所 (別売りバッテリーアダプターBKW-L601使用所 ) か部の、3A         か部の、3A           MONI 50Hz~15KHz±1.0dB         消費電力		3.5¢ ステレオミニジャックx1		独立 ON/OFF可能
R OUT+4・0・20・60dBm 600Ω負荷に適合する電子パランス出力 RCA OUT (L/R)-10dBs アンパランス出力 MONI OUT-6dBs 8Ω以上の負荷に適合するアンパランス出力 第書を表現します。 MONI 50Hz~15KHz±1.0dB 第分の	最大出力	L/R +24dBm	プリファーダーライン	マスターボリューム直前確認機能
600の負荷に適合する電子バランス出力	音声出力レベル	L OUT+4·0·-20·-60dBm	使用電源	
RCA OUT (L/R)-10dBs アンパランス出力 MONI OUT-6dBs 8 の以上の負荷に適合するアンパランス出力  が命合特性 外部DC入力 DC9~18V 最大0.5A  周波数特性 ライン 50Hz~15KHz±1.0dB がのNI 50Hz~15KHz±3.0dB  S/N 54dB以上(-70dBm入力時) 64dB以上(+4dBm入力時) 64dB以上(+4dBm入力時) (30kHz L,P,F使用,入力600のプランチ)  変み率 マイク及びライン 0.2%以下 MONI2%以下(50Hz~15KHz)  ハP-1パッテリー (別売りパッテリーホルダーFS-N01使用時 ソニー社製リチウムイオンパッテリー (別売りパッテリーアダプターBKW-L601使用時 ソニー社製リチウムイオンパッテリー のの3A  グロック・18V 最大0.5A  がの3A  がの3A  がの2A  がで~40°C ・20°C~40°C ・20°C~50°C ・グスーを表現している。 ・グスを表現している。 ・グスを表現している。 ・グスを表現している。 ・グスを表現している。 ・グスを表現している。 ・グスを表現している。		R OUT+4·0·-20·-60dBm	バッテリー	単三乾電池専用スライドケース(8本挿入)
アンバランス出力  MONI OUT-6dBs 8 Q以上の負荷に適合するアンバランス出力  統合特性  外部DC入力  DC9~18V 最大0.5A  周波数特性 ライン 50Hz~15KHz±1.0dB  MONI 50Hz~15KHz±3.0dB  タボーンででである。  「会社のででは、100円の間ができます。」でである。  「会社の関連を表現します。」でである。  「会社の関連を表現します。」では、100円の関連を表現します。 100円の関連を表現します。 100円の可		600Ω負荷に適合する電子バランス出力		BP90バッテリー
MONI OUT-6dBs 8 位 と		RCA OUT (L/R)-10dBs		NP-1バッテリー
### Right おおから   ### Right		アンバランス出力		(別売りバッテリーホルダーFS-N01使用時)
統合特性 外部DC入力 DC9~18V 最大0.5A  周波数特性 ライン 50Hz~15KHz±1.0dB 消費電力 約0.3A  MONI 50Hz~15KHz±3.0dB 一般  S/N 54dB以上(-70dBm入力時) 動作温度 0°C~40°C 保存温度 -20°C~50°C MONI60dB以上 質量 約1.9kg 外形寸法 206x60x172mm(幅x高さx奥行き) でイク及びライン 0.2%以下 (電池ホルダー含む)		MONI OUT-6dBs		ソニー社製リチウムイオンバッテリー
周波数特性 ライン 50Hz~15KHz±1.0dB 消費電力 約0.3A  MONI 50Hz~15KHz±3.0dB 一般  S/N 54dB以上(-70dBm入力時) 動作温度 0°C~40°C (64dB以上(+4dBm入力時) 保存温度 -20°C~50°C (MONI60dB以上 質量 約1.9kg (30kHz L,P,F使用,入力600のブランチ) 外形寸法 206x60x172mm(幅x高さx奥行き) (電池ホルダー含む) 付属品		8Ω以上の負荷に適合するアンバランス出力		(別売りバッテリーアダプターBKW-L601使用時)
MONI 50Hz~15KHz±3.0dB  S/N 54dB以上(-70dBm入力時) 動作温度 0°C~40°C	統合特性		外部DC入力	DC9~18V 最大0.5A
S/N       54dB以上(-70dBm入力時)       動作温度       0°C~40°C         64dB以上(+4dBm入力時)       保存温度       -20°C~50°C         MONI60dB以上(30kHz L,P,F使用,入力600Ωブランチ)       質量約1.9kg         水形寸法       206x60x172mm(幅x高さx奥行き)         でイク及びライン 0.2%以下(50Hz~15KHz)       (電池ホルダー含む)	周波数特性	ライン 50Hz~15KHz±1.0dB	消費電力	約0.3A
64dB以上(+4dBm入力時)		MONI 50Hz~15KHz±3.0dB	— 般	
MONI60dB以上 質 量 約1.9kg	S/N	54dB以上(-70dBm入力時)	動作温度	0°C~40°C
(30kHz L,P,F使用,入力600Ωブランチ) 外形寸法 206x60x172mm(幅x高さx奥行き) では マイク及びライン 0.2%以下 (電池ホルダー含む) (電池ホルダー含む) 付属品		64dB以上(+4dBm入力時)	保存温度	-20°C~50°C
歪み率マイク及びライン 0.2%以下(電池ホルダー含む)MONI2%以下(50Hz~15KHz)		MONI60dB以上	質量	約1.9kg
MONI2%以下(50Hz~15KHz)  付属品		(30kHz L,P,F使用,入力600Ωブランチ)	外形寸法	206x60x172mm(幅x高さx奥行き)
dan	歪み率	マイク及びライン 0.2%以下		(電池ホルダー含む)
		MONI2%以下(50Hz~15KHz)		
単三乾電池ホルダー/専用キャリングケース/取扱説明書/保証書	付属品			

## アフターサービス

#### ■保証書

本製品には保証書が添付されています。

お買い求めの際に販売店の押印がない場合は、無効となります。

保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

#### ■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

#### ■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。(送料等はお客様負担でお願いします。) 詳しくは保証書をご覧ください。

#### ■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、 有料で修理させて頂きます。

#### ■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、 もう一度ご確認ください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、 またはサービスセンターへお問い合わせください。

#### ■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談はお買い上げの販売店、 またはサービスセンターへお問い合わせください。

修理・お問い合わせ窓口

Owebsite http://www.protechweb.jp Oe-mail support@protechweb.jp

PROTECH® サポートセンター

**8** 0567-24-4581

○受付時間 午前10時~午後6時まで(土・日・祝日を除く)

理品送 5

(株) 日本ビデオシステム プロテックサポートセンター

〒496-8005 愛知県愛西市諸桑町郷城218番地

TEL 0567-24-4581FAX 0567-24-4577